

行政視察等報告書

令和 7 年 2 月 6 日

境港市議会
議長 永井 章 様

会派名 境港市議会公明党議員団
代表者 田口 俊介

下記のとおり行政視察（調査・**研修**）・陳情を行ったので、その結果を報告します。

記

1 視察等期間	令和 7 年 1 月 30 日（木）～31 日（金）
2 視 察 等 先 及 び 内 容	令和 7 年 1 月 31 日（金） 『地方議員研究会』議員研修会 ① 「役所の仕組みを学ぶ」 ② 「質問の仕組みを学ぶ」 講師（①②とも） 寝屋川市指導役 市川克美 氏 元寝屋川市議会議長 宮本正一 氏 会場：リファレンス西新宿大京ビル （新宿区西新宿 7 丁目 21-3）
3 視察等議員	田口俊介
4 総 経 費	合計（1 名） 69,110 円 （一人当たり 円） ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て
5 所 見 等	別紙のとおり

次 第： 第1部「役所の仕組みを学ぶ」

- ①絶対に押さえておきたい役所の仕組み
- ②効果的な議員活動に必要なこと
- ③4年スパンでの戦略を立てよう
- ④NGな質問とその答弁の解説
- ★一口メモ～使わない方が良い言葉の実例
- ⑤刺さる質問とその答弁の解説
- ⑥職員にこう言われたら、こう返せばよい事例

第2部「質問の仕組みを学ぶ」

- ①役所の上手な使い方
- ②どんな職員がキーパーソンか
- ③寝屋川市の先進事例から学ぶ（いじめ対策、働き方改革）
- ④実際の議事録から学ぶ残念な質問
- ⑤寝屋川市議会6月定例会から残念な質問
- ★一口メモ～意外と間違いが多い言葉使い
答弁書文末・語尾の使い分け例
- ⑥実際の議事録から学ぶ巧いと思わせる質問
- ⑦質問に振るおススメのスパイス

内容・所感： 講師はどちらも、元寝屋川市副市長で現在、寝屋川市指導役の市川克美氏と、元寝屋川市議会議長の宮本正一氏。お二人がそれぞれ、行政と議会の2つの視点（立場）から、議会活動、特に議会質問に焦点を当てて、午前の部（第1部）では、行政（執行部）からみた「楽な質問」「NGな質問」とは。また、「刺さる質問」とは何かや、刺さる質問とするために必要な事は何かなどを、実際の寝屋川市での事例を引きながらの解説。

また、午後の部（第2部）では、効果的な質問を行うための「役所の上手な使い方」や「職員の味方を増やし、キーパーソンを掴むには」など、執行部との向き合い方について、これも講師の経験に基づき解説されました。

どちらも2人の講師の掛け合いで、わかりやすい説明でした。

今回の研修は、対象が主に、1期目の議員など、期歴の浅い議員でしたので、新たな発見...というよりは、自身の議員活動・議会活動を振り返り、ひとつひとつ点検していく内容でもありました。

個人的には、講師の考える「議員が目指すべきは『課題迫及型の質問』である」という点など、少し自分の視点とは異なるところもありましたが（僕は『提案型の質問』をなるべく心がけていますので）、市長の公約や所信表明、施政方針、総合計画をはじめとした各種の計画を質問のベースにという意見には同意でき、市政の課題をしっかりと掘り下げた上での提案、提言を質問に織り込んでいく事で、課題迫及型から提案型へ質問の幅を広げることに関がると理解したところです。

今回の研修であらためて、行政に対しては「是々非々」の姿勢で、誠実に向き合う事が大切だと感じたところです。

報告者：田口俊介